

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ライフステージに対応した学習充実事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	05	06	05
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館			
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進		主管課長	中西 直人			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	生涯学習講座に参加を希望する児童期、高年期等の市民	意図	児童期、高年期など各世代に応じた学習機会を提供。
事業内容	児童を対象とした「夏休み子ども体験教室」や、60歳以上の方を対象とした「ゆうゆう大学」など各世代に応じた講座等を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	60歳以上の方を対象とした「ゆうゆう大学」は第8期となり、新たにおおたかの森センターにおおたかの森学園を開設し、全6学園でのスタートとなった。新たな学生を迎え、教養科目および選択科目をそれぞれ年12回実施した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	講座開催回数	163	160	155	
②	講座受講者数	10,941	9,195	11,850	人	↑↑↑	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業の総コスト(a=b+c)	10,748,015	15,384,157	19,821,202	・ゆうゆう大学は第8期1年目となり、おおたかの森学園を1学園増設し、新たな学生を迎えた。教養科目、選択科目（6科目）それぞれ年間12回実施し、多様な学びの場として、また仲間づくりの場として充実した学園生活を提供できた。			
事業費(b)(円)	7,603,865	7,705,057	8,750,402	・体験講座では、市内の史跡を通して、流山の特色や歴史を再発見、再認識できる「史跡ガイドウォーキング」や、夏休みに子供たちが楽しみながら学べる講座を実施した。			
うち一般財源	7,603,865	7,705,057	8,750,402	・キッズサイエンスデーの部において、様々なサイエンス体験を多くの親子に提供することができた。			
職員給与費(c)(円)	3,144,150	7,679,100	11,070,800				
人役・職員(人)	0.45	0.45	0.80				
人役・再任用(人)			0.20				
人役・臨職(人)		4.00	4.00				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	ゆうゆう大学は第8期を迎え、新たな学生を迎える。新たな学生のニーズに合った学びとなるよう、学生の声を運営および学習内容に反映させていく。	③取組の課題	各年代のニーズに対応した多様な講座を企画する。
②今年度(H27)に実施した取組	ゆうゆう大学は新たな学生を迎え、学びの充実および仲間づくりに取り組み、2年次のカリキュラム作成に学生の要望を取り入れた。さらに、子ども体験教室、史跡ガイドウォーキング、キッズサイエンスデー等を実施した。	④今後の改善計画	ゆうゆう大学第8期2年次の学びの充実を図り、学園祭実施に向け学生をサポートする。また、各ライフステージのニーズを探り、多様な講座実施に努める。